

# 島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	妊娠糖尿病患者における緊急帝王切開術に関連する因子の検討
研究期間	2020年6月4日～2024年3月31日
対象患者	妊娠糖尿病(Gestational diabetes mellitus;GDM) <sup>※1</sup> と診断された患者さん ※1：妊娠中にはじめて発見または発症した糖尿病にいたっていない耐糖能（上昇した血糖値を正常に戻す能力）異常
対象期間	2011年4月1日～2020年3月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院
当院研究責任者	内分泌代謝科 並河 哲志
意義・目的	GDMでは、正常妊娠と比較して周産期合併症のリスクが高く、緊急帝王切開術となる可能性が高いです。一方、妊娠前および妊娠中の血糖管理を行う事により、これらのリスクが減少することが報告されています。 当院では内分泌代謝科と産婦人科が連携し、全妊婦さんをスクリーニングし、GDM妊婦さんに関しては妊娠中及び分娩後も血糖管理を行っています。 GDMにおける緊急帝王切開術に関連する因子を検討した症例は少なく、今回当院でGDMと診断された患者さんを調査し、GDMにおける緊急帝王切開術に関連する因子を検討します。これにより今後の妊娠糖尿病の治療方針に資することを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む)	電子カルテ等より、「利用する情報の項目」の情報を抽出し、緊急帝王切開に関連する因子を解析します。
利用する情報の 項目	患者情報（識別番号、同一患者識別符号、退院記録）、糖尿病家族歴、喫煙歴、飲酒歴、不妊治療の有無、分娩時年齢、分娩回数、分娩週数、分娩方法（緊急帝王切開、選択的帝王切開 <sup>※2</sup> 、経膈分娩（自然経膈分娩、吸引分娩））、緊急帝王切開術になった理由、身長、妊娠前体重、BMI、分娩時体重、BMI、分娩時総インスリン量、妊娠中入院回数、妊娠中母体増加体重、GDM診断時期、GDM診断時空腹時血糖値、HbA1c、スクリーニングOGTT（糖負荷試験）（0時間、1時間、2時間後血糖値）等 ※2：何らかの理由で経膈分娩が不可能な場合、あらかじめ帝王切開術分娩を予定する場合。

試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・ <u>なし</u> (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表予定です。
備考	

\*\*\*\*\* お問い合わせ先 \*\*\*\*\*

島根県立中央病院  
内分泌代謝科 並河 哲志  
電話：0853 - 22 - 5111

事務局：臨床研究・治験管理室  
電話：0853-30-6590（直通）

\*\*\*\*\*